



弘前藩の「中興の英主」と称される四代藩主津軽信政は、その遺言によりここ岩木山麓・高岡の地に葬られました。信政を祀る高照神社には信政の遺品が納められ、歴代藩主により社殿の整備が進められ、「高岡様」として広く崇敬を集めました。

神社宝物を収蔵公開していた宝物殿が老朽化したことから、弘前の歴史や文化を伝える貴重な文化財を恒久的に保存管理し、展示活用することを目的に資料館建設が計画され、平成30年4月1日に「高岡の森弘前藩歴史館」として開館しました。



高照神社境内（神橋より随神門を望む）



高照神社拝殿



津軽信政廟所参道



高照神社馬場跡

ご利用案内

■開館時間

午前9時30分～午後4時30分

■休館日

毎月第3月曜日（祝・休日の場合は翌日）

年末年始（12月29日～1月3日）

展示替え期間中

※詳しくはWebサイト等をご確認ください。

■観覧料

一般 300円

以下の方は無料で入館できます。

65歳以上の弘前市民

障がいのある方（介護者含む）

大学生以下

ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方

※確認できる手帳や身分証明書・学生証などをお持ちください。

■交通案内

【車】東北自動車道 大鰐弘前ICより約40分

※一般車両の駐車は高照神社境内をご利用ください。

【電車・バス】

東北新幹線新青森駅より電車で40分 JR奥羽本線弘前駅下車

弘前駅前6番のりばより弘南バス・岩木山線岳温泉行で高岡下車



弘前市教育委員会

高岡の森 弘前藩歴史館

Takaokanomori Historical Museum of Hirosaki Clan

〒036-1344 青森県弘前市大字高岡字獅子沢 128-112

☎ 0172-83-3110 📠 0172-26-5456

<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/takaoka-rekishikan/>



高岡の森
弘前藩歴史館

開かれる弘前藩の宝蔵

津軽信政着用品足（複製）

主な収蔵資料

津軽信政を祀る高照神社に、明治10年には初代藩主津軽為信が合祀されました。その際、津軽家や旧藩士たちより武具類をはじめ多くの品々が寄進されたことから、津軽家や弘前藩由来の多くの宝物が高照神社に収蔵されるに至りました。

当館はこれら宝物を中心として、津軽・弘前の歴史・文化を語る上で欠くことのできない数多くの歴史・美術工芸資料を保存管理し、展示公開しています。



重要文化財 太刀 銘友成作
弘前藩初代藩主津軽為信が豊臣秀吉より拝領し、最後の藩主津軽承昭が高照神社に寄進した古備前の名刀で、精緻な螺鈿の拵を伴います。



市指定有形文化財 信政公葬送図絵巻



市指定有形文化財 紺糸威五枚胴具足兜付



県有形民俗文化財 高照神社奉納額絵馬



市指定有形文化財 貴田稲城氏奉納資料



市指定有形文化財 梨地時絵文台・硯箱

これらを含めて
国指定 2件 2点
県指定 5件 68点
市指定 19件 1,207点の
指定文化財を含め約5,300点の
資料を収蔵しています。



常設展

地域の成り立ちに大きく関わる弘前藩主津軽家や藩士たちの旧蔵資料を中心として展示します。

津軽信政着用具足、津軽領や弘前城下の絵図、弘前藩の歴史年表や津軽家の系図、岩木山を中心とした地形模型などによって弘前藩の歴史像や地域像を紹介します。



企画展

高照神社の所蔵品を中心に、弘前藩に関わる歴史資料・美術工芸資料を展示し、江戸時代の弘前を理解できるように企画します。

武具刀剣類を含む美術工芸資料や、絵図・古文書を含む歴史資料などテーマに沿った企画展示を年4回程度開催します。

